

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】ロボット支援下腹腔鏡下肝部分切除術・肝外側区域切除術の安全性に関する研究

【研究機関】愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】杉山隆（病院長）

【研究責任者】坂元克考（肝胆膵乳腺外科 講師）

【研究の目的】

ロボット支援下腹腔鏡下肝切除術を受ける患者さんに関して、手術や術後合併症に関する情報を利用し、その安全性を検証する研究を行います。この研究はロボット支援下腹腔鏡下肝切除術を受ける患者さんにおける安全性の確認を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2022年8月から2027年3月までの間に、当科でロボット支援下腹腔鏡下肝切除術を受ける患者さん

（利用するカルテ情報）性別、年齢、併存疾患、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、術前・術後診断、手術時間、出血量、術後合併症 等

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 坂元克考

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 坂元克考

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5327